

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実施報告書

【都道府県】 宮城県

【学校名】 石巻市立万石浦中学校

【テーマ】 I II III IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

オリンピック・パラリンピックの精神を学ぶ

～運動部活動の基本トレーニング及び体育理論を通して～

【実施学年、部、講座等】

第1学年（男子33名・女子32名）

第2学年（男子38名・女子31名）

第3学年（男子38名・女子42名）

【目的・ねらい】

オリンピック・パラリンピックの精神（努力する喜び、フェアプレー、他者への尊敬等）を学びながら、その精神を普段の運動部活動のトレーニングに生かすとともに、普段の生活の改善を図る。

【種類】(当てはまるものに○)

- ・各教科（ 保健体育 ） ・道徳 ・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動
- ・教科以外での取組（ ）

【実践内容等】

2 ねらいを達成するために取り組んだ内容

(1) オリンピック・パラリンピックの精神を学ぶ講演会

期日 平成27年12月17日（木）13:30～

演題 「オリンピックで学んだこと」

講師 仙台大学 教授 鈴木省三 氏

- ・1984年 サラエボ冬季オリンピックボブスレー日本代表
- ・1988年 カルガリー～2014年ソチ8季連続日本選手団役員・競技委員を歴任



内容

全校生徒を対象に、オリンピックの価値「卓越」「友情」「敬意・尊重」について説明

「卓越」 スポーツに限らず、人生においてベストを尽くす。

「友情」 スポーツでの喜びやチームスピリット、対戦相手など人と人をつなぎ、互いの理解を深める。

「敬意・尊重」 オリンピック・ムーブメントに参加する全ての人の原則である。

スポーツの価値については、「人間力をさらなる高みに導いてくれる。子どもは大人にし、大人は紳士にする。いろいろな精神を引き継いで石巻の復興の先頭に立って頑張ってもらいたい」

(2) オリピアンに学ぶ実技研修会

期日 平成28年1月29日(金) 13:10～

演題 「オリピアンに学ぶ実技研修会」

講師 仙台大学 教授 鈴木 省三 氏

仙台大学 職員 小室 希 氏

- 内容
- ① ウォーミングアップ
 - ② 重心制御 ③ ゆがみ改善法
 - ④ ダイナミックウォーミングアップ
 - ⑤ スターティックスストレッチ

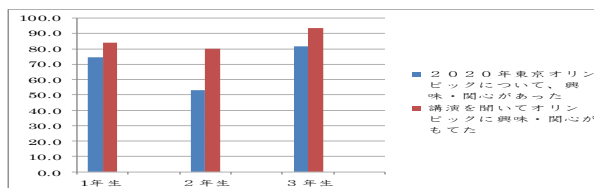


(実践上の工夫点、留意点等)

講演会・実技研修は、効果的にオリンピックをより身近に感じる事ができるように、仙台大学に依頼して、オリピアンに授業を進めてもらった。

3 実践から得られた成果

【アンケート結果より】



【得られた成果】

- (1) 2020年オリンピック・パラリンピックに対して、今回の講演会や実技研修会をとおして興味・関心が高くなった。
- (2) 講演会や実技研修会を、これからの生活に役立てようと思っている生徒は8割以上になった。
- (3) スポーツの楽しさを講演会や実技研修会をとおして理解することができた。
- (4) オリンピックの価値「卓越、友情、尊敬・敬愛」について考える機会をもつことができた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- (1) 今回の授業を生かして、2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、教育活動全体をとおして継続した教育を行っていききたい。
- (2) オリンピックの価値「卓越、友情、尊敬・敬愛」、パラリンピック価値「決断、決意・表明、公平・鼓舞、激励」について、今後の生活で生かせるように取り組んでいききたい。
- (3) 2020年オリンピックにおいて、一人でも多くの本校生徒が関わっていききたいと思えるように、来年度以降も進めていききたいと考える。